

2026年度

事業計画書

事業所・委員会名

デイサービスセンター
しおかぜアクアジム

策定者

管理者

近藤 佳奈

1. 2030年度ビジョン

法人共通	モラル・教養・技術を兼ね備えた職業人集団（プロフェッショナル）となり、地域から最も信頼される福祉ブランドを確立する
事業所	職員は厳しく楽しくスパルタだけど笑いは忘れず、施設はプールを核とした運動支援で他にはない本気のからだづくりの拠点となり、守る介護から鍛える介護へ、を目指す。

作成上の注意) 聞いた人が中身をイメージできること、これをユニットや職種やクラスなどチーム単位に分解する想定。

2. 前年度の振り返り

強み・得意／弱み・問題	強み・得意：“三位一体” プール運動、マット運動、施術がセットで行える、PTが関わるプール運動が出来る 弱み・問題：着替えが面倒、プールは寒いと思われている、初期投資、準備物にお金がかかり持参物が多い
機会・ニーズ／脅威・競合	機会・ニーズ：膝痛・腰痛があるが負荷なく運動がしたい 脅威・競合：短時間デイサービス

作成上の注意) 聞いた人が中身をイメージできること、1行にまとめてもOK

3. 当年度の戦略目標

戦略の柱	現状 (ビジョンに対する課題・問題点)	成果目標 (事業所の定量目標)	行動項目 (項目4に分解する)
(1) 組織風土変革 ・規則等理解、ABCDの状況 ・関係の質の状況 ・言葉づかい、服装、マナーの状況 ・職員同士の協体制の状況	利用者様の動きに手を貸しすぎて出来ている 行為まで代行してしまっている	出来る動作はしっかり待つ事を意識し待つ、 声掛け、見守りをする場面を増やす	利用者様の自立と『できる』を尊重しながら 変化に気づける距離で見守り、声掛けを行う
(2) 人材育成 ・職員の資格保有の状況 ・職員の常識・業務知識・技術の状況 ・現場のOJT体制の状況 ・職員のモチベーションの状況	行事等職員で協力して取り組んでいるが送迎 や昼休憩時の対応が重なり休憩が回しにくい 状況 全員で取り組んでいるが個々の強みを生かした 得意分野や個性を活かしきれていない	行事や日常業務の中で職員間の協体制を 維持しながら、職員が適切に休憩を取れる様 に送迎距離などを考え配置する 得意分野に応じた担当を決め行事などの主体性 の向上を図る	新職員確保まで送迎ルート見直しをその都度 行い、短時間休憩も取り入れながら維持して いく 行事ごとに全員に役割を決め全員に出番を作り、 強みを把握し、役割分担を明確化する
(3) サービス品質向上 ・サービス提供時間の状況 ・業務効率化、標準化の状況 ・利用者やご家族の満足度の状況 ・苦情や事故、その対応の状況	PTによる施術は好評だが対応できる人数 が少なくなっている 自宅での転倒が増えている ご利用者様1人1人に対し支援方法が違って いる	PT施術を安定して一定人数に施術を提供でき る状態を作る(1日1人~4人) 転倒の不安が減る ご利用者様に対する支援方針を統一し介入 しすぎない支援を意識する	施術対象者を職員間で共有し把握する 自宅の危険場所の聞き取りを行い掲示・説明する 見守りか支援かの判断を毎月の事故予防会議 で話し合い支援方法を認識を統一する
(4) 経営基盤強化 ・事業収支の状況 ・稼働率の状況 ・施設・設備の状況 ・事業所固有のリスクの状況	登録者数・稼働率は上昇しているが1日30名 を維持できていない プール設備の経年劣化・老朽化	曜日や午前午後で差があっても安定した利用 人数を確保し1日30名を維持する メンテナンスを1回/年行い安全に利用でき る状態を維持する	水着キャンペーン実施 3ヶ月(5~7月、12~2月)/年2回 専門業者による定期点検を実施し出来る所は 修繕していく
(5) 地域支援強化 ・法人地域支援活動への参加の状況 ・地域住民からの認知度の状況 ・拠点独自の支援活動の状況	アクアの強みであるプール設備・水中運動 が十分に地域に浸透していない 地域支援行事に参加できていない	プール・水中運動の存在と効果を毎月SNS等で 発信し見学につなげ強みを定着させる 年間の地域行事に1人1つは参加する	見学だけだったが体験を再開する 各行事に各自1つは参加できるよう声掛けし ていく(年間計画の作成)

作成上の注意) 文章にしらない、箇条書きにする、数値化する、主語(何、誰など)を明確にする

事業所内標語

スローガン	コケても骨はノーダメージ大作戦!
-------	------------------

事業所の職員全員で取り組むものを、わかりやすいことばで表せるならグッドです!

4. 年間行動スケジュール

	戦略行動項目 (前掲項目3との関係をカッコ記載)	定例業務	法定研修・訓練 (参加者、人数、立合有無等をカッコ記載)
4月	水着キャンペーン告知 支援方法の話し合い(3)	お花見 事故予防・事業所会議	高齢者の人権擁護に関する研修 担当：倉持・宮地
5月	水着キャンペーン①(4)(5) 支援方法の話し合い(3)(2) プール定期メンテナンス(4)	茶話会 土曜出勤日	感染症委員会 担当：三宅・倉持
6月	危険箇所聞き取り(3) 支援方法の話し合い(3)	健康講座 事故予防・事業所会議	虐待防止の為の研修 担当：宮地・小松
7月	支援方法の話し合い(3)	七夕 ☆ショッピングツアー 事故予防・事業所会議	感染症BCP訓練(シミュレーション) 担当：近藤・白石 避難訓練(立会いなし)：利用者・出勤職員
8月	危険箇所集計・掲示(3) 支援方法の話し合い(3)	かき氷 土曜出勤日(プール掃除)	感染症BCP研修 担当：近藤・白石
9月	支援方法の話し合い(3)	敬老会 事故予防・事業所会議	生産性向上委員会 担当：白石・近藤
10月	支援方法の話し合い(3)	日帰り旅行：10月15日(木)・10月23日(金) 事故予防・事業所会議	
11月	水着キャンペーン告知 危険箇所聞き取り(3) 支援方法の話し合い(3)	15周年祭り！茶話会 事故予防・事業所会議	虐待防止検討委員会 担当：宮地・小松
12月	水着キャンペーン②(4)(5) 支援方法の話し合い(3)	ゆず湯・ゆず茶 ☆年末ショッピングツアー 事故予防・事業所会議	感染症委員会 担当：三宅・倉持
1月	危険箇所集計・掲示(3) 支援方法の話し合い(3)	初詣 土曜出勤(プール掃除)	災害BCP研修 担当：白石・近藤 避難訓練(立会いなし)：利用者・出勤職員
2月	支援方法の話し合い(3)	健康講座 事故予防・事業所会議	災害BCP訓練(シミュレーション) 担当：白石・近藤
3月	支援方法の話し合い(3)	ゆず湯・レモネード 事故予防・事業所会議	生産性向上委員会 担当：白石・近藤

作成上の注意) 文章にしない、箇条書きにする、数値化する、主語(何、誰など)を明確にする

5. 当年度の収支計数・前提条件

収支計数		前提条件	
目標事業活動収入	38,539千円	施設定員	40人
目標稼働率	75.00%	平均利用者数(年間営業日数平均)	30人
事業活動支予算額	42,309千円	単位/1利用者あたり収入	4,911円
目標事業活動資金収支差額	△3,770千円		
稼働率：入所・デイ・保育：期間中延べ利用者数÷(営業日数×1日の利用定員)		重点加算(=事業所サービスの特徴)	—
訪問：期間中サービス提供時間数÷期間中勤務延べ時間数			
単位：1営業日あたりの数値		自事業所の戦略人材とは？	全体を見て柔軟に自ら判断し行動できる人材